

保険証それでも廃止

マイナ 総点検 誤り 1.5 万件

首相表明

政府の「マイナンバーエンタテイメント情報検査本部」は

12日、第5回会合を開き、総点検の結果判明したトラブルの全体像を明らかにしました。岸田文雄首相は、個人情報をすばやく取り扱い、運営をいた責任を認めず、「予定通り現行の健康保険証の発行を来年秋に終了する」と表明しました。

今春以来、保険証な

どの行政情報が別人のマイナンバーにひも付けられるトラブルが相次ぎ発覚。政府は6月に総点検本部を設置し、マイナンバーカード取得者向けの政府サイト「マイナポータル」で情報を閲覧できる事務を対象に、原則1ヶ月を期限に点検作業を実施しました。

総点検では、自治体や保険者などによる独自の点検も含めると、1万5000件の誤登録があると

付けの誤りが判明。このうち健康保険証は全体の半分超の8000件にも及びます。

これらとは別に、マイナンバーにひも付けられた保険証のデータを住民基本台帳と照合したところ、庄名や住所などが一致しないデータが約150万件も判明。多くは漢字・仮名表記などの相違と見られます。厚生労働省ではこのうち約45

0件余(5自治体)の自治体で5845件の誤りが判明。1万500

件余(5自治体)の本人確認が終わっていない公金受取口座

ません。公金受取口座

障害者手帳は、43件で5845件の誤りが判明。1万500件余(5自治体)の本人確認が終わっていない公金受取口座

河野太郎デジタル相談室は会員で「日本はゼロリスク」という神話があ

りました。

たが、世の中ゼロリ

スクはない」と開き直

↓関連の面

情報22件、所得・個人

住民税情報4件などの

誤りも見つかりまし

た。

再発防止策として

は、各制度の申請時に

マイナンバー記載を明確化する省令改正などを示しました。